



令和5年度第1回総会開催



嘉規 洋 会長挨拶

令和5年度の船橋市国際交流協会第1回総会が、5月18日午後2時から開催されました。

会場は、例年と異なり船橋市勤労市民センターの地下2階ホールで28名の参加を得ました。開会にあたり、協会の嘉規洋会長より、コロナ禍の中でも徐々に対面での活動が再開しつつあると挨拶がありました。併せて昨年度は、来場者が5千人を超えた「国際ショナルフェスティバル2022」と同時に協会設立35周年記念式典を開催して永年会員を表彰、ミクロネシア駐日大使をお迎えして3年ぶりに「第15回国際理解セミナー」を開催、ウクライナ避難民専用クラスの日本語学習の提供などの活動が紹介されました。最後に、新型コロナの5類移行により、今後増加する外国人住民の生活を、協会として支援していくとの決意が示されました。

続いて、来賓として出席された松戸徹船橋市長から、ボランティアで草の根活動を担う多くの協会会員に対して謝意が示されました。そうした活動の中で日本語教室の開催が外国人支援の大きな力になっていることや、姉妹都市の関係でも、米国のヘイワード市、デンマークのオーデンセ市、中国の西安市の間で、国際交



来賓挨拶 船橋市長 松戸 徹 様

流が続けられていることや、特にオーデンセ市からは、先日市の博物館館長などが来日され、ふなばしアンデルセン公園を訪問したことが紹介されました。

現在、市内在住の外国人は約1万9700人を数え、64万5千を超えた市民の約3%に達していることが説明されました。相互理解のため、市民レベルの交流が増々大事になるとのご挨拶がありました。

この後、議案の審議に入り、令和4年度事業報告、同決算・監査報告、令和5年度事業計画、同収支予算が了承されました。最後に、新理事3名の選出が行われ、国際交流課職員の紹介をして閉会となりました。

続いて、同日午後4時から、船橋商工会議所に会場を移して懇親会が開かれました。嘉規洋会長を始め、協会役員に加えて、日本語教室や災害時外国人支援や多文化共生で活動するボランティアも参加し、賑やかに行われました。

なお、総会の議事内容はホームページに掲載しましたので、ご覧ください。

令和5年度 会長・副会長・部会長等一覧	
会長	嘉規 洋
副会長/国際化啓発・広報部会長(兼務)	小田原 隆泰
副会長	田邊 厚志
副会長/事務局長(兼務)	片桐 卓
交流・相互理解部会長	椎名 有香
外国人支援部会長	浦和 かほる
監事	小原 智
監事	相川 和永

学生ボランティアさんが活動を始めました

小川 珠生さん（会員：地球っ子ども日本語教室）

私は現在国際高校の国際科に通う3年生です。この学校は外国人留学生の受け入れや、姉妹校交流など、国際交流活動が盛んな学校です。ところが、コロナウイルスの影響でそのような活動ができずにいました。ある日の夕方、たまたま見ていたテレビで、海外から日本に来た子どもたちが学校の授業についていけず、不登校になっているというニュースを見ました。その子どもたちが日本語がわからず、一人で家にいて、不安そうにしているのを見てとても悲しい気持ちになりました。もっと日本は良い国だと知ってもらいたい。外国人の子どもたちが日本で楽しい思いや経験がたくさんできるようになってほしい。私も海外から来た子どもたちに少しでも手助けができたと思うようになりました。そこからいくつかのボランティアを探す中で、この地球っ子どもプロジェクトを見つけ、日本語学習支援ボランティアの養成講座がある事を知り参加をしました。講座では、3ヶ月にわたって日本人の国語の勉強とは違った、外国人向けの日本語の学習方法を学びましたが、実際に自分が支援者の立場として子どもたちに日本語を教えるとなると難しいことがたくさんありました。まず、自分は日本人であるにもかかわらずきちんとした日本語や言葉の由来をわかっていないなど、気づくことがとても多いです。先日は大人の支援者の方に月の初めをなぜ一日(ついたち)と言うのかを教えてくださいました。私も子どもたちと一緒にまだまだ勉強しなければならないと思うのと同時に、新しいことを学べてとても楽しくやりがいを感じています。今の教室に来ている子どもたちはとても勉強熱心で、私が教えたことをあつという間に覚えて使いこなせるようになっており、いろんな子たちの成長を見られるのがとても嬉しいです。みんないつも笑顔で一生懸命に日本語を話してくれています。もっとこの子たちの日本語学習の力になりたいと思っています。子どもたちの「なんで〜？」に答えられる支援者になれるようこれからも頑張りたいです！



子ども日本語教室での活動風景

山岡 愛歌さん（会員：薬円台日本語教室）

私は、今年4月から大学1年生になりました。日本語コミュニケーション学科で日本語教育や観光業などを学んでいます。

協会のボランティア養成講座を受講したきっかけは、元々日本語教師に興味があったからです。大学を選ぶときに日本語教師になるための勉強ができる大学を選びました。ボランティアで実際に日本語を教える経験してみたいと思って講座を受けました。

実際やってみると、日本語の勉強が大好きな人ばかりではないことに気づきました。仕事などで日本に来たので必要に迫られて勉強しなければと思っている人、忙しくて時間がない人に、どうやって楽しく勉強してもらおうかが難しいと思いました。

そんなときに、講座で勉強したことが役に立ちました。言葉が通じない人に、絵を描いたり、中国の人には漢字で書いてみる、やさしい日本語を使うなどです。

日本語の支援は楽しいです。特にわかってくれた時の表情や覚えた日本語を使ってくれたときは嬉しいです。留学生が多い大学なので、普段から日本語を教えるのにも役立っています。教えるのが怖い、無理だという感覚よりも、楽しく活動できています。



薬円台公民館での活動風景

外国から来ているお母さんたちに聞きました

協会の子ども日本語教室に通っている子どもたちのお母さん2人に、子どもたちの様子や、感想を聞きました。お2人とも仕事をされているだけあって、とても日本語が上手です。

ワルナクラスーリヤ ムデヤンセーラゲ フシュパー ダマヤンチさん

スリランカで看護師をしていました。日本語学校を卒業して来日。3人の子どもがいます。



FIRAの子ども日本語教室のことは、中学校の日本語指導の先生から聞いて、インターネットで調べて申し込みました。娘は最初オンライン教室に参加して、日常的な日本語から語彙や文法などの勉強ができました。また、教室以外にも、協会の国際フェスティバルのボランティア活動や、みんなで動物園に行ったり、日本の伝統芸能を体験したりできました。2回目は本人が希望して、対面教室に参加しました。高校入試の勉強をがんばっていたところでした。会話の練習を目的に対面を選びましたが、作文の練習までできて、本人もすごく気に入っていました。先生方がとても優しく良かったと思っています。息子も成人の教室に通っていますが、友だちもできて、ニーズに合った楽しい勉強ができて感謝しています。

親として心配していることは、勉強だけでなく子どもたちの精神的なサポートです。年齢や性格によって考え方も異なるので、子どもの立場に立って考えるようにしています。

FIRAに期待することは、日本文化の体験の機会をこれからも作っていただくこと、子どもたち同士が話す機会が増えること、学校の宿題や勉強に困っている学生たちの勉強会などもあればうれしいです。

スベトラーナ アレーコバさん

キルギスで高校生の時に日本語を習い始めました。日本センターが設立されてからはそこで日本語を勉強しました。日本センターの日本語の授業がおもしろく、日本のことが大好きになりました。キルギスのJICAに勤めていて、2024年まで日本の本部で仕事をするため家族と一緒に来日しました。



仕事で1年前に来日したときに、市役所の外国人総合相談窓口でパンフレットをもらい、是非子どもたちを通わせたいと思いました。小3、中3、高2の3人の子どもがFIRAの日本語教室に通っています。一番下の子は日本の学校に通い、学校でもサポートを受けています。上の二人は、たくさん知識を吸収したり、表現したりする年齢なので、コミュニケーションが不足

する心配もあって国際スクールに入れました。母親として勉強がどうなるか、コミュニケーションがどうなるかととても心配でした。地球っ子子ども日本語教室は、先生方が優しく楽しくて、毎週「早く行こう」と行きたがります。上の二人も、短期間ですが、日本語を覚えたほうが生活が楽しいと思うし、日本文化や習慣にも触れて欲しいと思うので日本語教室に通わせています。この教室は少人数で、活動しながら楽しく日本語を勉強できるのでとても贅沢だと思います。長男は成人の教室でレベル別の勉強もできてとても良いと思います。「あなたたちは、たくさんコミュニケーションができるので、とてもラッキーよ」と言っています。子どもたちがリラックスして勉強できて、私も安心しています。



二和教室で学ぶ息子さんたち

お知らせ

外国語講座（10月～12月期）対面の募集を開始します

- （1）コース（各10回）
 - ・英語初中級（日曜日：10時～11時30分）
 - ・中国語初級（木曜日：10時～11時30分）
 - ・ベトナム語初級（土曜日：13時30分～15時）
- （2）募集期間 8月10日（木）から9月9日（土）
- （3）場 所 協会サロン（船橋市南本町3-9）

「インターナショナルフェスティバル2023」のボランティアを募集します

令和5年10月22日（日）ふなばしアンデルセン公園にて、「インターナショナルフェスティバル2023」を開催します。当日は、ステージにおける踊りの他、フリーマーケット、スタンプラリーなどを予定しています。当日のボランティアを後日協会メールマガジンなどで募集します。

これから実施する事業

- （1）多文化共生「やさしい日本語講座」 11月11日（土）予定
- （2）災害時外国人支援サポーター養成講座 11月25日（土）予定

詳細については、協会メールマガジンやホームページで募集をします。

ボランティア募集

「ようこそふなばし」編集員

市からのお知らせや外国人のためのお役立ち情報を執筆編集します。
6月、9月、12月、3月の年4回発行、3か月周期での活動となります。
校正から印刷までのスケジュール管理も分担します。英語、中国語が得意な方も歓迎です。
やさしい日本語講座も併せて受講してください。

「協会ニュース」編集員

協会の行事の取材やレポートを年3回発行します。情報収集や書くことが好きな方、お待ちしております。

交流イベント企画ボランティア

外国人と日本人がいっしょに交流しながら楽しめるイベントを企画・運営しませんか。
（料理教室、バスツアー、タウンウォーキングなど）

ボランティアに関するお問合せ：協会事務局までメールでお願いします。担当がお返事します。
firaoffice@gmail.com

◎メールマガジンに登録してください。

一部の方にメールマガジンが届かない事象が報告されています。
対応策は検討しておりますが、改善され次第メールマガジンにてご連絡いたします。

